本部紹介
情報通信ビジネス企画統括本部

CTC
Challenging Tomorrow's Changes

本部長メッセージ



情報通信事業グループ
情報通信ビジネス企画統括本部
本部長　中田　真吾

事業Gの成長、CTCの成長のために――
情報通信ビジネスの“次の柱”を共に創る仲間を求めています。

当本部は、新規事業開発・先端技術調査・工事監理（ファシリティ）・プロジェクト品質管理・事業グループの経営資源管理といった多様な機能を持つ、約200名の組織です。
私たちの組織の大きな魅力は、「自らの企画が未来の社会基盤を支える可能性を秘めていること」「事業グループの新たなビジネスを生み出せること」です。AIエージェント、フィジカルAI、次世代データセンターソリューション、自社ブランド製品の開発など、“新たなビジネスづくり”が経験できる希少なフィールドといえます。
好奇心、探究心、情熱で、CTCの次の成長を共に描いていきましょう！

組織構成（2026年6月1日現在）

情報通信事業Gの“横ぐし”組織として、フロント本部に並走しながらパフォーマンス最大化に貢献

情報通信ビジネス企画統括本部
本部・部付　2名
（合計 195名）

新卒中途割合	新卒：60.3% 中途：39.7%
男女比	男性：79.3% 女性：20.7%
年齢構成	20代：9.6% 30代：10.4% 40代：38.5% 50代以上：41.5%

※正社員のデータ

情報通信事業開発部	新規ビジネス 製品主管	・情通G主要ベンダーや中国・台湾ベンダー製品の販売技術支援 ・市場・顧客リサーチ、新規ベンダー・製品の発掘 ・新規ビジネスの企画・推進	20名
情報通信技術開発部	先端技術 製品主管	・技術の最新トレンド調査・製品開拓 ・ビジネス推進のための技術支援およびフロント組織の技術支援 ・製品主管・技術面でのベンダーリレーション	71名
工事監理部	ファシリティ cooliquid	・全社の電気通信工事、電気工事、内装仕上工事および管工事の監理。 ・全社工事案件に関する営業支援／推進、部材調達支援。 ・主管法令遵守の周知と対応窓口（建設業法、廃掃法／工事関連）	65名
情報通信PJ統括部	PJ/品質管理 +Frontier	・次期ビジネス検討プロジェクトの運営。 ・プロジェクトの適正化を目的とした統制／支援、品質活動の推進。 ・SE人材育成の推進およびパートナー協業推進。	22名
情報通信企画統括部	事業G企画 経営資源管理	・事業G方針立案、予算策定、経営計画策定支援、経営分析・レビュー ・人材戦略推進、オフィス戦略推進等のファシリティマネジメント ・事業Gの投資管理。	15名

FY26注力ポイント

次期ビジネスの推進

Secure AI Endpoint (仮名)
AIエージェント+AI PCのバンドル化

Physical AI Platform
マルチベンダー環境のRobOps

Agentic SOC
AIエージェントを活用したオペレーション改革

フロント本部とのソリューション拡販

AI Grid X
CTCリファレンスアーキテクチャ構築

AI-Ops
NW運用の自律化に向けて

cooliquid
液冷トータルソリューション

ベンダーリレーションの更なる強化

ハードウェア資源の確保

自社ブランド製品の拡充

新進気鋭のベンダー開拓

ソリューション開発事例　cooliquid（クーリキッド）

ITとファシリティの知見を掛け合わせ、AI時代のデータセンター課題に挑む

AI技術の進化により、GPUサーバの需要と消費電力が急増し、より高効率な冷却技術が求められています。

当本部では各組織と連携し、液冷関連商材の企画、技術検証、ファシリティ要件の整理、機器選定、施工・構築、保守・運用までを一体で支える仕組みを構築しました。

液冷は、サーバ、ラック、CDU、配管、冷却設備、監視・運用までを横断して設計する必要があり、IT領域とファシリティ領域の接続が難しいテーマです。だからこそCTCでは、これまでの知見をかけ合わせ、単なる製品提供ではなく「計画から導入、運用までのワンストップソリューション」として提供。液冷技術の社会実装を後押しし、環境負荷低減とサステナビリティにも貢献します。

cooliquid（クーリキッド）｜公式サイトはこちら！

cooliquid（クーリキッド）とは

液冷技術を活用した、CTC独自の革新的なサーバ冷却ソリューションです。
液冷ソリューションは、空冷よりも効率的に熱を除去でき、高密度なIT環境でも安定運用が可能。冷却効率の向上に加え、静音性、省スペース化、電力コストの削減、機器の長寿命化など多面的な利点があり、環境負荷の軽減にも貢献します。

CTCでは単一のサービスだけではなく、ファシリティ要件策定から機器選定・調達、施工・構築、保守・運用までを一貫して提供可能です。空冷よりも複雑な液冷導入プロセスを、設計～運用まで包括的に支援し、各施設に最適な冷却方式の実現をサポートします。

CTCの強み



目指せるキャリア事例

工事監理部

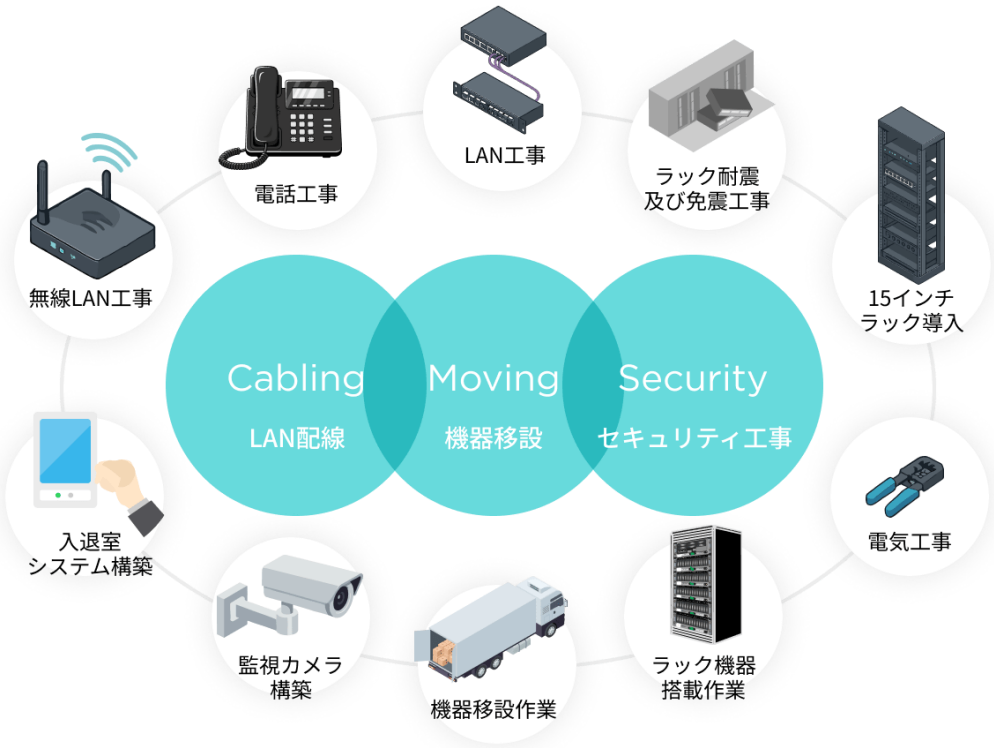
CTC全社の工事案件に、工事管理技術者として参画していただきます。将来的にはマネージメントや専門技術者としてのキャリアパスを選択可能です。

POINT

・CTC全社の工事案件を担っています。
・業界を問わず、様々な通信設備、データセンター等の一連業務（設備提案～施工管理）に関与可能です。
・キャリア入社が多く、溶け込みやすい環境です。

DC市場の急成長に伴い、技術者のキャリア採用を強化中！

人工知能（AI）を利用したサービスの普及により、データセンターでは情報通信機器の熱負荷の処理方法や消費電力の増加が課題となっています。これらの課題を解決するために空調設備・電気設備のリニューアル改善提案、新冷却技術の導入提案、DCIM（Data Center Infrastructure Management）の導入等による「データセンターインフラの統合的な管理」の提案機会も増加しており、これらに対応できる技術者の増員が急務となっています。



キャリア採用者インタビュー

工事監理部のエンジニア3名に聞いてみました！



Aさん　2024年入社



Bさん　2023年入社



Cさん　2025年入社

前職・これまでの経験

Aさん：
前職では、電気工事会社で7年間、電気設備工事に携わっていました。
その後、製造業で7年間、工場の電気保全業務を担当していました。

Bさん：
前職では、電気設備分野の技術営業として、主にデータセンターや金融機関、オフィスビル向けの基幹電気設備の提案・導入に携わっていました。
施設の安定稼働を支える設備を中心に、提案・見積から仕様調整、施工計画、施工管理まで一貫して担当していました。 特にデータセンターや金融機関など、停止が許されない設備環境における更新計画や、システム無停止での設備更新など、信頼性が求められる案件を多く経験してきました。

Cさん：
前職では、外資系ITインフラサービス企業に新卒で入社し、ITシステムの安定稼働を支えるシステム運用業務に携わりました。
その後、建設業に携わるうえで必要となる資格の一つを取得したことを機に、データセンターの電気設備・空調設備など、ITサービスを支えるファシリティ領域へと業務の幅を広げてきました。
お客様の設備課題を丁寧に伺い、提案から設計・施工まで一つひとつ形にしてきた経験が、現在の仕事にもつながっています。

キャリア採用者インタビュー

CTCを選んだ理由

Aさん：
これまでの電気工事や電気保全の経験を活かしながら、新しいことにも挑戦したいと思い、CTCを選びました。
現在はUPS関連案件に携わっており、これまでとは違った立場で仕事ができることに魅力を感じました。

Bさん：
前職では電気設備を中心に経験を積んできましたが、今後は設備単体ではなく、お客様のITシステムを支えるファシリティ全体の計画・構築に関わりたいと考えていました。
CTCは、ITインフラとファシリティの両面からお客様の課題解決に関われる点が魅力で、上流の計画段階から施工までIT機器稼働に必要となるファシリティ全体に関わることができるため、自分の経験を活かしつつ、さらに領域を広げられる環境だと感じたことが入社の決め手です。

Cさん：
これまで培ってきたデータセンターファシリティの知識や経験を、新しい環境で活かせると感じたことが決め手です。
CTCは、マルチベンダーのサーバやネットワーク機器を扱っており、それらの導入・設置に伴う通信設備工事や電気設備工事を強みとしている会社です。その中で近年は、設備構築の推進にとどまらず、より上流の段階からお客様の課題を捉え、最適な設備構築を提案していく取り組みも広がっていると知りました。自分の経験を活かしながら、そうした新しいチャレンジにも貢献できると思い、入社を決めました。

企画統括本部・工事監理部の印象

Aさん：
フラットな雰囲気で、役職に関係なく相談しやすい職場だと感じています。
分からないことや困ったことがあっても気軽に相談できるので、とても働きやすい環境です。

Bさん：
挑戦する機会が多く、本人の意欲を尊重してもらえる環境だと感じています。
前職で培った経験を活かしながら、より広い領域に挑戦できる点は大きな魅力です。
一方で、すべてを一人で完結させるのではなく、各分野の知見を持つメンバーと連携しながら案件を進めていく文化があります。難しい課題に対しても、チームで議論しながら解決策を考えられるため、安心感と成長機会の両方がある職場だと感じています。

Cさん：
長年、機器導入に伴う設備構築を支えてきた、専門性の高い組織だと感じています。 近年は、そうした強みを活かしながら、お客様の課題をより上流の段階から捉え、提案につなげていく機会も広がっている印象です。
それぞれの専門性を持ち寄りながら仕事を進める雰囲気があり、私自身もこれまでのファシリティ領域の経験を活かしつつ、周囲の知見を学びながら貢献の幅を広げていける環境だと感じています。

キャリア採用者インタビュー

皆様からのご応募、お待ちしております

現在の仕事内容・やりがい

Aさん：
現在は大型UPS関連工事の工事監理を担当しています。前職で培った知識や経験を活かせる場面も多く、工事が無事に完了したときや、お客様に喜んでいただけたときにやりがいを感じます。
また、毎回違う現場を経験できるので、新しい知識が増えていくことも仕事の面白さだと思っています。

Bさん：
現在は、主にデータセンターやサーバ室の構築案件において、ファシリティ全体の要件策定・設備計画、提案、見積等を担当しています。お客様の要件を整理し、IT機器稼働に必要な設備の最適な構成を検討する仕事です。
やりがいを感じるのは、単に設備を導入するだけでなく、お客様のシステム運用や将来拡張まで踏まえて、施設全体としてどうあるべきかを考えられる点です。技術的な難易度が高い案件も多いですが、社内外の関係者と連携しながら形にしていく過程に面白さを感じています。

Cさん：
工事監理部が機器導入に伴う通信設備工事や電気設備工事を主軸とする中で、私自身は主にデータセンターやITファシリティの観点から、電気設備・空調設備に関する企画計画・設計・施工に携わっています。
お客様の現状を丁寧に把握し、まだ表面化していない課題やリスクを整理しながら、システムの安定稼働につながる施策を検討する工程にやりがいを感じています。
前職で経験したシステム運用の視点と、建築・設備に関する知見を組み合わせることで、お客様の事業継続を支える一助となれる点が、この仕事の面白さの一つだと感じています。

転職検討中の方へのメッセージ

Aさん：
私も転職するときは不安がありましたが、実際に入社してみると前職での経験を活かせる場面がたくさんありました。CTCにはさまざまな経歴を持った方が活躍しているので、異業種からの転職でも心配しすぎる必要はないと思います。
まずは一歩踏み出してチャレンジしてみてください。新しい環境だからこそ得られる経験や成長があります。

Bさん：
CTCの工事監理部は、これまでの設備・施工・設計・営業などの経験を活かしながら、ITインフラを支えるファシリティ領域へ仕事の幅を広げられる環境だと思います。
データセンターやサーバ室の構築は、電気・空調・建築・通信など多くの要素が関わるため、簡単ではありませんが、その分、自分の経験が活きる場面も多くあります。
「設備の経験をもっと上流で活かしたい」「ITインフラに関わる仕事に挑戦したい」「チームで大きな案件を形にしたい」という方には、やりがいを感じられる職場です。

Cさん：
私自身、長く同じ会社でキャリアを重ねてきたため、転職には不安もありました。ただ、環境を変えたことで、新しい形で経験を活かせる場があることを実感しています。
CTCには、確かな技術力を土台に、新しい領域へ挑戦できる機会があります。専門性を活かしながら一歩踏み出したい方にとって、前向きに検討できる環境だと思います。